



Yonago East Weekly

【 素敵なロータリアンを目指そう、思いやりの心を持って 】

- 創立 / 1968年4月24日 ● 事務所 / 米子市西福原1-1-55 スマイルホテル米子 Tel (0859) 32-5531
- 例会日 / 水曜日12:30~13:30 ● 例会場 / ANAクラウンプラザホテル米子
米子市久米町53-2 Tel (0859) 36-1111
- 会長 / 長棟信泰 ● 幹事 / 永島正道 ● 会報 / 赤山俊寛

出席報告

会員数 109名
 出席数 64名 欠席数 38名
 出席免除会員 7名 荒川(雄)君 杉原(弘)君
 新納君 佐田山(有)君
 宮本(守)君 高橋君 小谷君

出席率 64.45 %

ビジター

メイクアップ

理事 12名 (1/11 第7回理事会)

今週のお祝

創立記念日祝 : 2日 牧田継夫君 4日 宮永誠治君
 8日 荒川雄司君 8日 荒川圭三君
 21日 桶村清子君 28日 石井敬薫君
 29日 井上賢明君

本人誕生日祝 : 1日 船田正一君 3日 石部裕一君
 5日 宮本 守君 14日 豊島良太君
 15日 荒川圭三君 15日 石井敬薫君
 19日 古杉 淳君 20日 伊藤由子君
 20日 小掠賢志君 28日 前田浩寿君
 29日 野津一成君

スマイルBOX 26,000 円 (647,000 円)

創立記念日祝: 牧田君、宮永君、荒川(圭)君
 桶村君、井上(賢)君、

本人誕生日祝: 石部君、宮本(守)君、荒川(圭)君
 石井君、野津君

主・夫人誕生日祝: 荒川(圭)君

結婚記念日祝: 野津君

NHK元旦番組「日本最強の城」で「米子城」が日本一になりました。本日18時10分からハイライト再放送があります。是非ご覧ください。:杉原(弘)君

会長挨拶

皆さん、新年あけましておめでとうございます。
 およそ1ヶ月ぶりに元気な顔を拝見いたしまして新年を迎えられることに感謝しております。会長になりまして半年経ちました。あっという間の時間であったと思います。時間が経つは早いと感じております。1年を無駄にしないように誓いをたてましたが、3日坊主で終わってしまいました。先日成人式がありましたが、私も半世紀前に20歳を迎えました。高度成長期でありましたので非常に活況でした。世の中の動きを肌で感じておりました。今の若い人は、このコロナが3年あまりに及んで行動の自由を妨げられているのは不幸だなと感じております。できれば、我々も若い方たちに明るい希望を持たせたいなと思っています。成人式は昭和21年に埼玉県青年団が最初に原型のようなものを作り、それが全国に派生したと言われています。歴史的にはまだ新しいわけですが、我々が若い人たちを支えていかなければならないと感じております。今日来ている人達もどうか若い人たちに元気を与えてあげてほしいと思います。それでまた住みよい街にしていきたいと思っております。まだ残り半年ありますので引き続きよろしくお願いたします。

幹事報告

- (1) R財団寄付表彰(PHF) … 野津会員 5回
- (2) 5RC合同例会について(補足)
- (3) 松江南RCより … 俳句同好会「午輪句会」
30周年記念出版「句集 午輪 第6輯」寄贈
- (4) 他クラブの例会変更等 … 掲示板をご確認下さい



★ 野津会員 PHF5回 ★



<本日のプログラム>

「ロータリーの友」1月号紹介

雑誌委員会 室 敦文 リーダー



横書き

- P 5 「RI会長メッセージ」
- P 8 「コロナ禍における私の職業奉仕①・②」
- P37 「パートナーシップの力」

縦書き

- P 9 「この人訪ねて」

(株)日本旅行米子支店 支店長
佐藤圭介」会員 転勤ご挨拶



【次回プログラム】

- 1/19 「年男放談」 … 永見会員
岩岡会員
諸遊会員
- 1/26 「私の職業」 … 河口会員
福井会員

「職業奉仕について」 種田進会員



皆さんこんにちは。職業奉仕委員会の種田でございます。

昨年11月頃に伊藤会員より1月第一例会にはお願ひしますと言われまして、伊藤会員から頼まれれば断るわけにはいかんと思ひ、そのようなことでお受けいたしました。1月は皆さんご存知のようにロータリーでは職業奉仕月間ということになっております。ロータリーで奉仕部門というのは4大部門の一つということで、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕であります。2010年ぐらいに新世代奉仕委員会というのが立ち上げられました。それから2年ほど経ってから、その奉仕部門というのが今度は青少年奉仕委員会に変更となった経緯があります。職業奉仕というのは、ロータリー入ってから7年目ぐらいですから、本当の意味で奉仕ということについて皆が一生懸命勉強して、よく理解したという時期ではなかったと思ひます。ですから先輩の皆さんに職業奉仕とは一体何をやるのですかと聞いたこともございます。とにかく自分の仕事を一生懸命やればいいんだ、とにかくみんなに喜んでもらって、良い品物を作って、そしてそうすれば必ず元気も出るし、会社も良くなるし、それがロータリーの職業奉仕で、それが奉仕に繋がる、それでいい、というような話でありました。それはいつもやっていることですから、そんな難しいことではないなと、そういうふうに思っておりましたけれども、色々今頃になって、ロータリーの友を読んだりしますと、日本のロータリアンの中でも異論のようなものが出てくる記事も見ます。

昨年の暮れに『触れ合い広場』皆さんもお読みになったと思ひますが、吉岡会員がちょうどいいタイミングで職業奉仕というものを書かれて、読ませて頂いております。ちょうど我々が入った当時というのは、どこかで奉仕をするならばということで、香取の下の方に子供さんの施設がありまして、そこで当時破傷風が流行った時期でございました。梅田会員のお父さん、伊藤会員のお父さん、荒川会員、そういったお医者さんの方々が一緒になって、家で使われないようなタオルや掛け毛布などを持って、2、3回行ったような気がしております。先生方は診察をしたり、問診をしたりしながら半日ほど過ごしてから帰るというようなことをして、これが職業奉仕だと思っていたことがございます。いろいろ本を読んでみますと、お医者さんのグループで1日診察奉仕をすれば、それは職業奉仕になるじゃないかと、また弁護士さんとか法律に詳しい方々が集まって法律相談や困りごと相談をすれば、それは職業奉仕になるじゃないかと思われたこともありましたけれども、それは違う、それは社会奉仕だと、結局自分の仕事を世間に認めて頂いて良い仕事をして、一生懸命したら必ず奉仕が報われるというロータリーの出来た当時、たぶんそうじゃなかったかなと思ひます。社会奉仕が本当の奉仕で、社会奉仕のほうに走られたグループ、それがライオンズクラブの始まりではないかと言われております。職業奉仕を突き詰めればなかなか難しいことではあります。難しく難しく書いてあります。なかなか納得がいったような、いかないうちの気持ちで読ませて頂いております。第一例会で四つのテストを皆さんで唱和する訳ではありますけれども、吉岡さんが先月書かれた『触れ合い広場』の中に、四つのテストということについて、これは念仏みたいなものだと言われておりました。確か吉岡さんは入会2年後ぐらいに、小椋会員のお父さんが会長だった時、境港のマリーナホテルでIMがあり、うちのクラブを代表して意見交換会に出られてかなり勉強されたということなんです。職業奉仕と四つのテストというのは、自分には結びつかないと書いておられます。でも月に一回、四つのテストを唱和しておれば素晴らしい意味のことが書いてあると私自身は思っております。そういう気持ちで日々を過ごしておれば、人間として本当に素晴らしいことだと思っております。皆さん方もお読みになって、どういふ風に思われたか分かりませんが、私は四つのテストについてどうこう考えはありませんので、なんとか一生懸命このことを理解していきたいと思っております。